

増田かおる



議会レポート Vol.33

2023年11月3日 発行人 増田薫

http://www.masuda-kaoru.net/ →
matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com
〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel/Fax 047-361-2103



今年の夏は猛暑の日が続き「地球沸騰化の時代が到来」(グテーレス国連事務総長による発言)しました。世界各国が、むやみに樹木を伐らない、植林をする、森を健全に管理しよう、と動き始めています。松戸市内の緑地をこれ以上減らしてはなりません。Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、足元から行動しよう)!

9月議会の一般質問から抜粋

あなたも”スメハラ”
”マイクロプラスチック汚染”
香害 しているかも



人工的な香りが辛いと訴える人が増えています。
そこで今回は学校での対応をたずねました。

Q: 「香害および化学物質過敏症に関する実態調査」を行う考えと、給食用の白衣(かっぱう着)を自前にすることについて。

A: 今のところ調査をする予定はありません。
また、柔軟剤不使用の白衣を用意し、対応しています。



増田かおるからのひとこと



大量の化学物質に囲まれている現在、誰もが”化学物質過敏症(以下CS)”を発症する可能性があると言われています。CSは、超微量の化学物質に反応し、頭痛やめまい、吐き気などを起こす病気で、その一つ「香害」がメディアで取り上げられるようになりましたが、これは香りの好き嫌いの問題ではありません。



香り長持ち製品は、香料を閉じ込めたマイクロカプセル(PM2.5程度の超微細なマイクロプラスチック)が繊維に付着し、摩擦により膜が破れて香料が飛び出す仕組みです。柔軟仕上げ剤のキャップ1杯に1億個ものマイクロカプセルが入っていて、洗濯のたびに流し続けています。都内の野鳥の肺や海中のプランクトンからマイクロプラスチックが検出されており、人も取り込んでいると指摘されています。体の小さな子ども達への健康影響が特に心配です。

洗浄力が高く、環境や健康にほとんど影響のない天然石けんを、子どもに関わる全施設で使って欲しい。香害の周知と実態調査の必要性と共に働きかけていきます。



●● 学校教育部 学校施設課 366-7456 ●●

決算審査より

新松戸駅東側の開発変更は誰のため??

JR 新松戸駅東側、2.6haの区画整理事業。市施行によるもので、総事業費181億円、14階建て200戸の大型マンション建設を中心とした街づくりの計画です。昨年3月、斜面部分が千葉県から災害警戒区域(レッドゾーン)に指定され、市は計画を変更しました。

Q: 駅前ロータリーを無くしたのはなぜですか? 駅に近いバス停から駅までの距離は何メートルになるのですか?

A: 人中心の街づくりを学識経験者からアドバイスされ、国もウォークアブルの街づくりを推進しているためです。距離については、途中段階のため慎重に取り扱っています。

答えになっていない

増田かおるからのひとこと

市は、マンションの大きさは変えず、位置のみをずらしました。バスが入れる「駅前広場」が東口にもできるという住民の認識を覆す変更を示したにも関わらず、バス停までの距離も明らかにしません。正確な判断材料を示さない市の姿勢に疑問を持ち反対しました。続けて追求していきます。

●● 街づくり部 区画整理担当室 366-7375 ●●

松戸市教育委員会(市教委)でパワハラが?!

(パワハラ: パワーハラスメント。職場における優位性を利用して、業務上の指導適正範囲を超えた叱責や嫌がらせを行うこと)

毎日新聞(9/16)、千葉日報(9/20)によると、松戸市職員組合が市教委の職員300人を対象にパワハラアンケートを行った結果、78人から「経験がある」「見聞きしたことがある」と回答があり、休んでいる職員もいる、と。中には「死にたい」という答えもあったそうです。担当課からは「聞き取り調査をしたが、パワハラ認定はなかった」と報告がありました。アンケートで答えた人は過剰反応だったのでしょうか? 子どもたちのいじめ対策や教育現場への影響はないのでしょうか?

パワハラは「職場におけるいじめ」であり、指導とは全く違います。今後は、松戸市「職場におけるハラスメントの防止に関する要綱」に具体的な定義づけをすることや第三者機関の設置などを働きかけていきます。

●● 松戸市教育委員会 生涯学習部 教育総務課 366-7455 ●●